

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

319

2008年8月31日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504

横山幸次区議のホームページを  
ご覧下さい!  
<http://www.yokoyama-kugi.com/>

## 後期高齢者医療制度で矛盾噴出 家族が健康診査から排除される?!

### 「土建国保」から区国保に転入した家族… 四月二日付加入で健康診断から締め出し

後期高齢者医療制度実施から五ヶ月、相次ぐ「見直し」「凍結」を繰り返した福田政権ですが、この医療制度への怒りと廃止を求める声は、ますます大きくなっています。同時に、この制度が実施される中で様々な矛盾が次々に吹き出しています。

七月から新たな制度の下で区の健康診査はじまっていますが、後期高齢者医療制度実施によって健診から排除される方が生まれています。そもそも今回の特定健康診査は、厚生労働省令でその年の四月一日現在で国民健康保険に加入していた

人を対象にしています。

「国保組合」「健保組合」

などに加入していた75歳以上の方は、四月一日から後期

高齢者医療制度に移されました。同時に家族は、荒川区国民健康保険に移ることになります。

ところが土建国保から移った家族は、加入日が、四月二日にされたため、区の健康診査が受けられなくなりました。

国の制度改定の都合

です。

荒川区として健康診査が受けられない区民を生まないための対策を直ちに実施すべきです。

(日本共産党区議団は、二十八日に区長に申入れを行いました。詳細は次号)



### 後期医療保険料「軽減」通知… 「凍結・経過措置」ではまた元に

高齢者のみなさんは、猛暑とともにやってきた7月の後期医療保険料通知にビックリ。怒りの声が窓口来訪と電話でなんと4,200件以上とのことでした。しかも今度は、8月に入ってお盆明けの19日に「国の見直し」による「保険料軽減」のお知らせが該当する8,000人位の方に送付されました。4月に決めて次々「見直し」、まさに「朝令暮改」とはこのことです。もちろん軽減は悪くはありません。しかしこれも「経過措置」、つまり期限が来ると元に戻ってしまう制度なのです。

結局「見直し」では何も変わりません。「見直し」を言えば言うほど「廃止しかない」という結論に達するのではないのでしょうか。



### 裏面 区政情報など

## 定例法律相談

9月1日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

【定例生活相談会】  
毎週水曜日 午後2時から5時  
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

### また大型小売店が出店を計画(南千住七丁目) いま区内商店街はどうなっているの…どうなるの?

まちの話題あれこれ

最近区内の各商店街を歩くと、以前に比べてシャッターを閉めている店舗が目立ち寂しいものを感じます。今回、東京都が南千住七丁目の都有地を民間に売却、そこに「くすりの福太郎」というドラッグストアの出店計画が明らかになりました。都有地は、都民・区民の貴重な財産です。本来住民の声も良く聞いて活用計画を立てるべきです。今回は、「金」目当てででしょうか売却でした。この間、区内の商店街は大型店出店で大打撃。しかも大型店もオーバーストア状態のようです。関係者に聞くと大型店から「商店会費を半分にしたい」など叫びも。このまま行けば、大型店の撤退も懸念されます。その後は、高齢者な



尾竹橋通り商店街...電柱地中化でどう変わるか



# いま荒川区の高齢者実態は 23区3番目の高齢化率…

**「長生きして良かった」と言える社会を  
敬老の精神を発揮できる施策めざして**

前号まで介護保険の現状について、その一部をお知らせしてきました。

しかし私たちの老後も含め、地域の中で高齢者がどういった実態にあるのか、介護だけでなくその全体を見ていくことが大事ではないでしょうか。

荒川区の高齢化率は、二十三区中、第三位という高さです。ほぼ五人に一人が六十五才以上という計算です。

では、老後を安心して暮らしていける条件は何でしょうか。居住環境、医療環境、介護環

境、暮らしを支える環境（生活費や就労、買い物など含め）…などきわめて幅広いものです。

いま、都市部での孤独死が問題になっていきます。問われるのは、一人暮らしの高齢者と地域とのつながりや社会参加の問題だと思えます。左の表でも、一人暮らし高齢者は、届け出した方だけで二千余人です。しかし実際には、「ひっそり」と暮らしておられる方も多はずです。孤独死を生まない、大地震など災害時の援護体制など課題は山積みです。

数字でみる荒川区の高齢者(2008年6月現在)

		備考
荒川区の人口	198,415人	
内高齢者人口	42,323人	(21.33%)
(23区では台東区、北区に次いで3番目に高い高齢化率)		
介護認定者数	7,200人	(17.01%)
一人暮らし高齢者届出数	2,071人	(あくまで届出数)
施設入所		
特養ホーム	511人	(特養ホーム待機者711人)
老健施設	388人	
介護療養型医療施設	190人	
合計	1,089人	

なお、区内特養ホームは、区立3カ所、法人立2カ所の計5カ所です

## 伝統技術展が開かれます(9/5~7) 都内屈指の催しに出かけてはいかが

今年も下記の予定で、「あらかわの伝統技術展」が開催されます。

日時 平成20年9月5日(金)~7日(日)午前10時~午後5時

会場 荒川総合スポーツセンター

荒川区は、都内でも伝統工芸の技術保持者が多く暮らす町です。伝統技術だけで展示会が持てるのも荒川区だけ。次の世代にも引き継ぎたい技術、技能の宝庫で、必見です。



### 技術継承者がなく減少の一途

#### 常設展示など踏み込んだ支援を

ところが、こうした技術技能の担い手は、高齢化や後継者難で減少の一途です。本業だけでは暮せないのがアルバイトをしている方も少なくありません。

いま区の支援策は、年一回の伝統技術展が中心です。しかし、伝統工芸といってもそれを生業にしているわけで、継承とともに収入の確保も大事です。区役所一階ロビーに展示コーナーはありますが、商店街や駅前など人の集まる場所に常設展示コーナーを設置するなど踏み込んだ支援が必要です。

## みなさんのご意見をお寄せ下さい!

### 《おしらせコーナー》

#### 今年の総合震災訓練は9月7日実施 区民参加、訓練のあり方が問われます

今年の荒川区総合防災訓練は、7日に実施されます。

会場は、尾久の原公園 サンパール通り 荒川遊園運動場 日暮里南公園 第一中学校 汐入公園の6カ所です。8時から10時までは、各防災区民組織でおこない、この会場は、10時から12時までです。

毎年行われていますが、訓練内容は各会場で、消火訓練、炊き出し、要救助者捜索など基本に各会場で多少異なります。議会でも議論されましたが、訓練のあり方を検討する時期に来ているように感じます。特に、訓練の



参加が町会主体で決まて多くありません。通勤している人の帰宅問題や高層住宅などでの対応など新たな課題もあります。みなさんは、どうお考えでしょうか。ご意見などお寄せください。